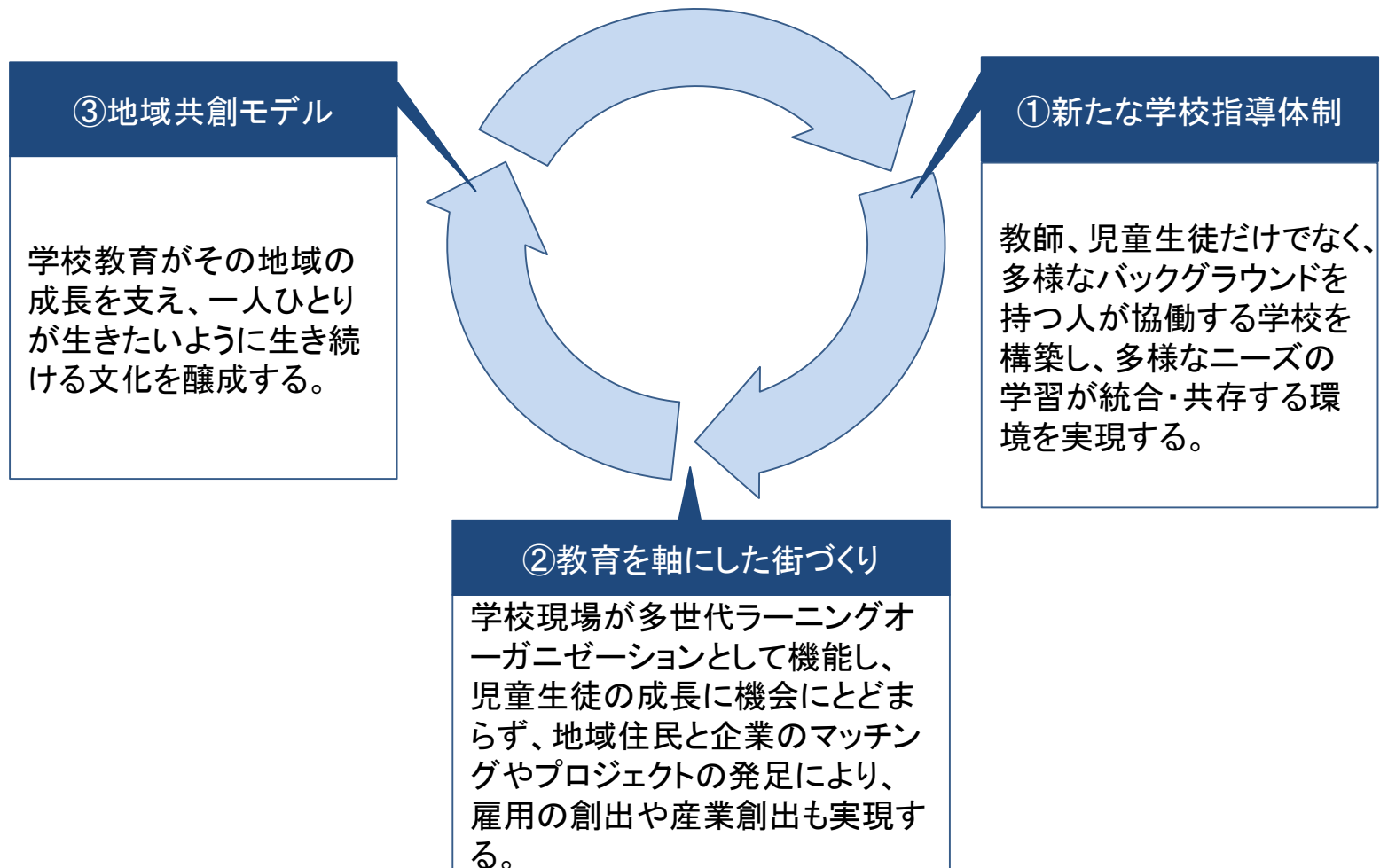


教室から世界を変える

Teach For JAPAN

フェローシップ・プログラムによる学校現場への入職の多軸化を起点に、
学校の社会的価値を再構築する。



Teach For Japanの取り組み

3

実現する
ゴール

Learning anywhere, Teaching anywhereを可能とする
革新的だが本質的な公教育を実現する
～すべての子どもが素晴らしい教育を受けることができる世界～

2

包括連携協定

すべての子どもに適応できる公教育と教育改革を軸にした地方共創モデルを
複数の自治体でネットワークを組み実現する

1

フェローシップ・
プログラム

人材募集

研修

入職

連携

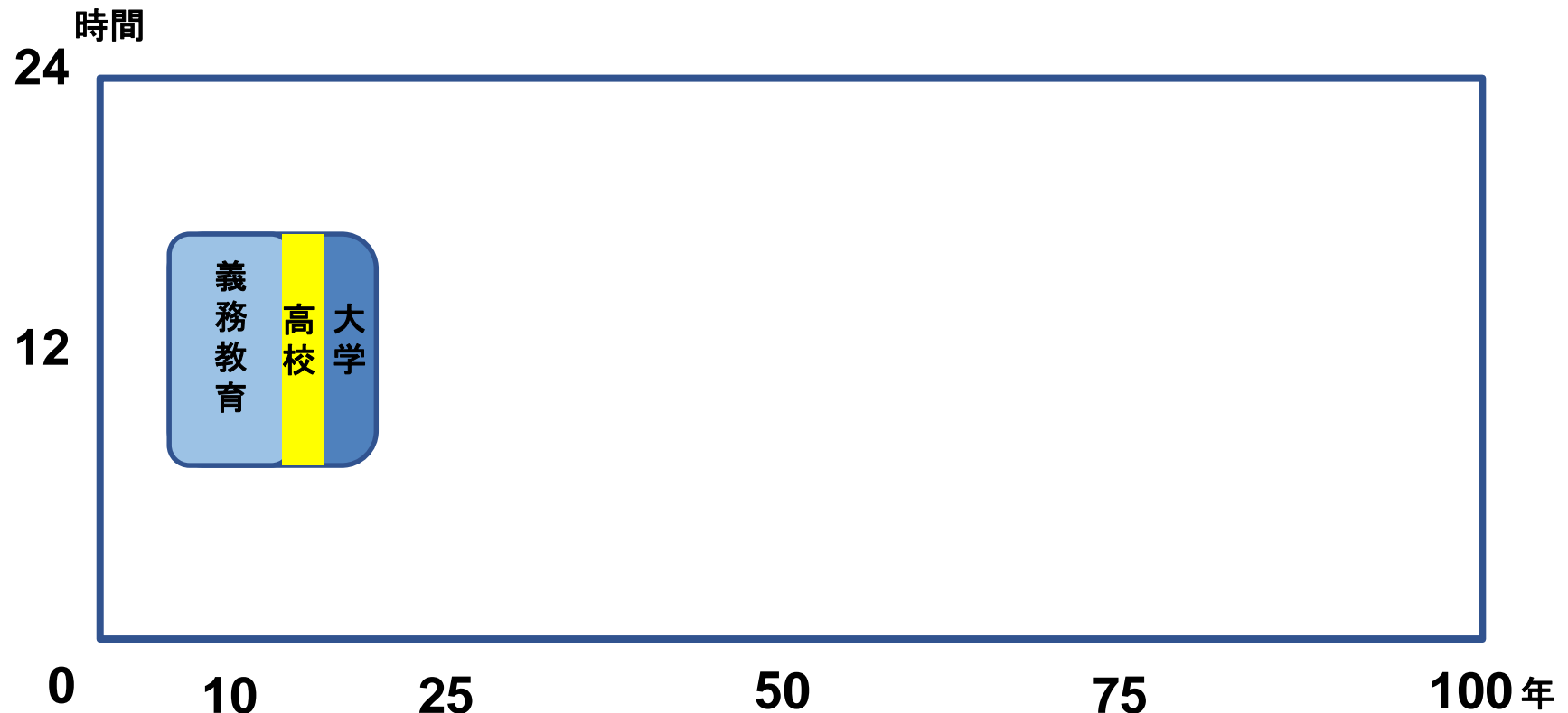
自治体連携

どんな境遇でも幸せになれる力

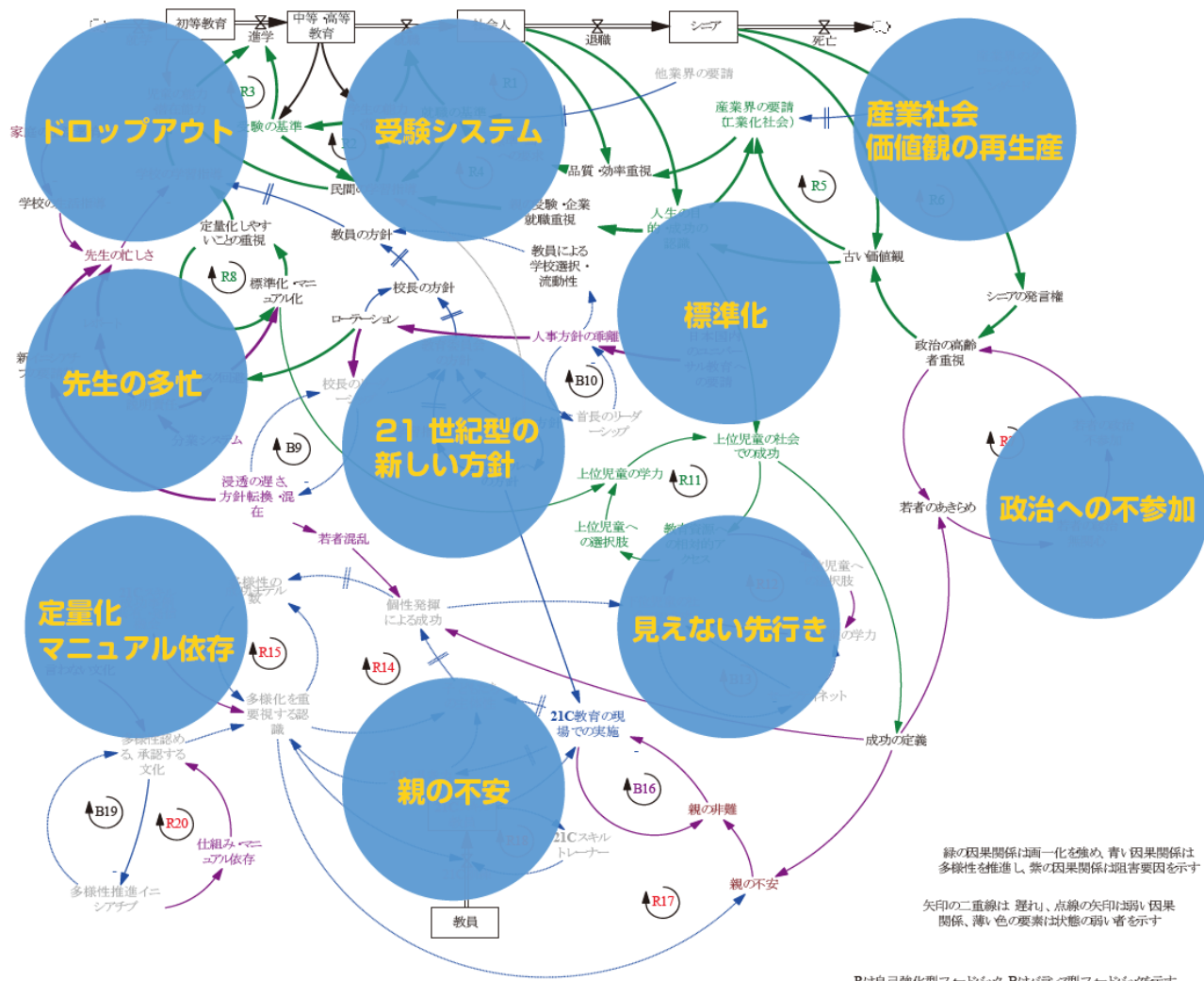
The Learning in Informal and Formal Environments Center の研究で、人が一生の中で学校など「**形式的な教育環境**」で「**狭義の学習**」をしている時間は、**小学校入学直前から高等学校卒業までで20%足らずで、その後大学で7.8%、大学院で5%程度になる。**

人が一生の間にどのような学習経験をするか、あるいはどのような学習を経験できる可能性があるかを考え、これまで以上に、**家庭や職場、地域社会など非形式的な環境での日常的な経験と学習を関連させ、学校の社会的価値を再構築する**時を迎えているのではないか。

引用:教育心理学概論(放送大学教材)



産業社会(企業)の価値観と教育のあり方を再構築する。



Rは自己強化型フィードバック、Bはバランス型フィードバックを示す